

所管事項調査

目次

交流拠点施設整備の進捗状況について

1 事業スケジュール	1
2 事業の範囲	1
3 検討の進め方	2
4 屋上デザイン及び照明計画（案）	3～5
5 実施設計におけるイメージ	6～10
6 施設平面図・断面図	11～16
（参考資料）基本設計に関する提案時からの主な変更点	17～19

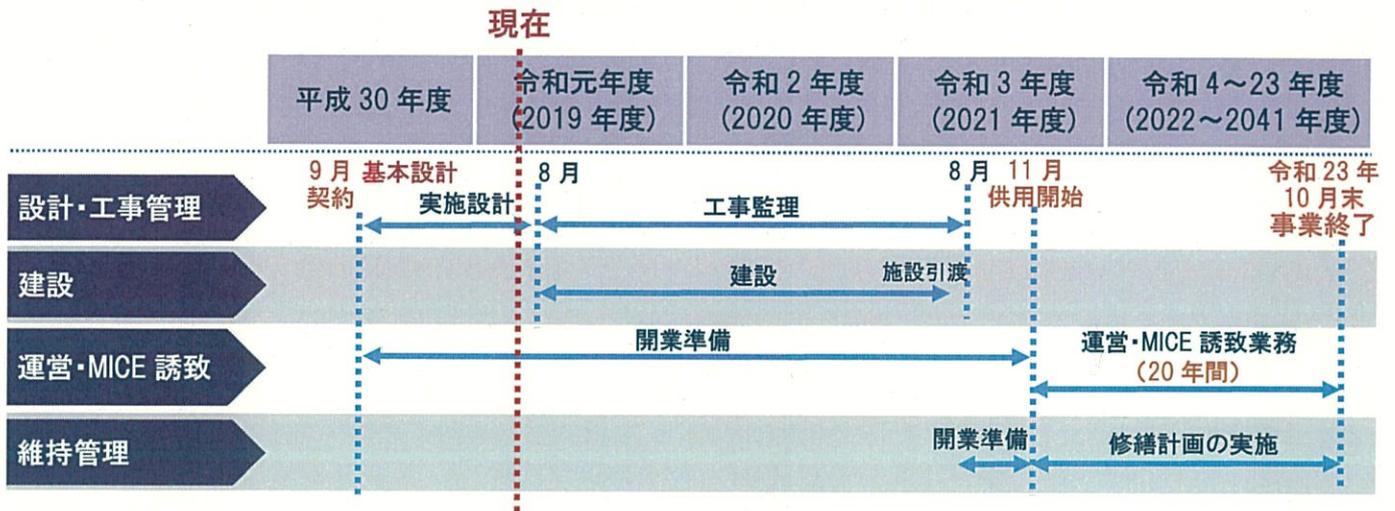
文化観光部

令和元年6月



1 事業スケジュール

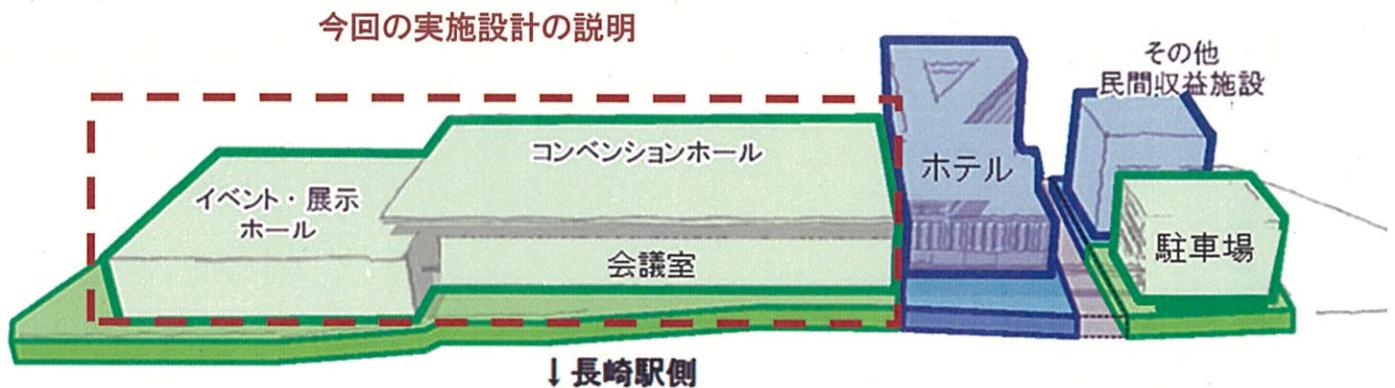
平成30年	9月	事業契約締結
平成31年	3月	基本設計完了
令和元年	7月	実施設計完了
令和元年	8月	建設工事着工（予定）
令和3年	8月	施設の引渡（予定）
令和3年	11月	施設の供用開始（予定）



2 事業の範囲

MICE事業の範囲：下図の緑色の施設

民間収益事業の範囲：下図の青色の施設（民間事業者が設計・建設、運営）



3 検討の進め方

(1) 会議開催状況（平成30年9月～）

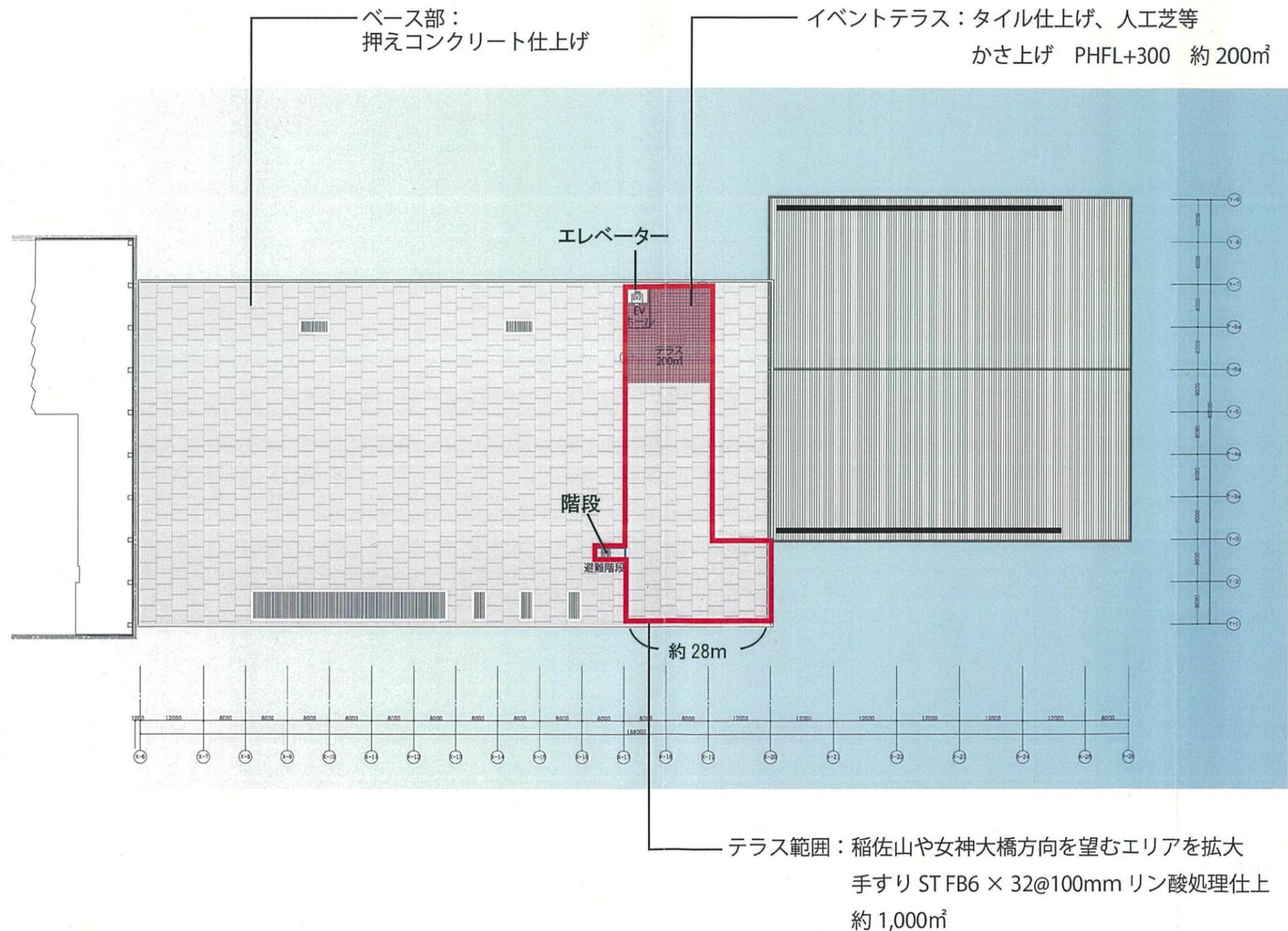
ア	長崎市交流拠点施設検討推進本部施設整備部会	2回
イ	長崎駅周辺エリアデザイン調整会議（専門部会含む）	4回
ウ	長崎駅舎・駅前広場等デザイン検討会議	3回
エ	イベント事業者（地元放送局等6社）	1回
オ	ケータリング事業者（地元ホテル4社）	1回

4 屋上デザイン及び照明計画（案）

※ 令和元年7月18日の長崎駅周辺エリアデザイン調整会議にて最終承認予定。

(1) 屋上デザインの考え方

- ア エレベーターや階段で屋上にアクセスする。
- イ 主催者の自由な発想で利用可能なエリアをテラス範囲とし、エレベーターホール周辺には床タイル等で仕上げたイベントテラスを設けた。
- ウ テラス範囲は約1,000㎡あり、その他の屋根とは手すりで区画し、浦上川側にも散策できるようにしている。
- エ 浦上川側の稲佐山がより近くに見えるエリアを広げ、利用者がより近くで稲佐山や女神大橋を望めるようにした。
- オ ベース部は、メンテナンス性の重視及び照り返しへの配慮から、伸縮目地を用いて変化をつけた押えコンクリート仕上げを採用し、意匠性と性能を同居させたデザインとした。



5 実施設計におけるイメージ

パース（変更点）

(1) 全体鳥瞰図

- ① 屋上、正面デッキ、駅からつながるペDESTリアンデッキ、イベント・展示ホール外観を変更し、長崎駅周辺エリアに調和したデザインとした。
- ② NBC 長崎放送社屋のデザインを最新の案に変更した。

実施設計



提案時



パース（変更点）

(2) 長崎駅方面から見たイメージ

- ① イベント・展示ホールの外壁デザインを2層にして、コンベンションホールとの一体感を意識したデザインとした。
- ② 2階の稲佐山プロムナードを約2.5mから約11mに拡幅し、長崎駅側と浦上川側の東西の動線、屋外展示及び休息スペースの機能を確保した。
- ③ コンベンションホール入口に庇(ひさし)を設置するとともに、駅からつながるペデストリアンデッキに屋根を設置した。
- ④ NBC 長崎放送社屋のデザインを最新の案に変更した。

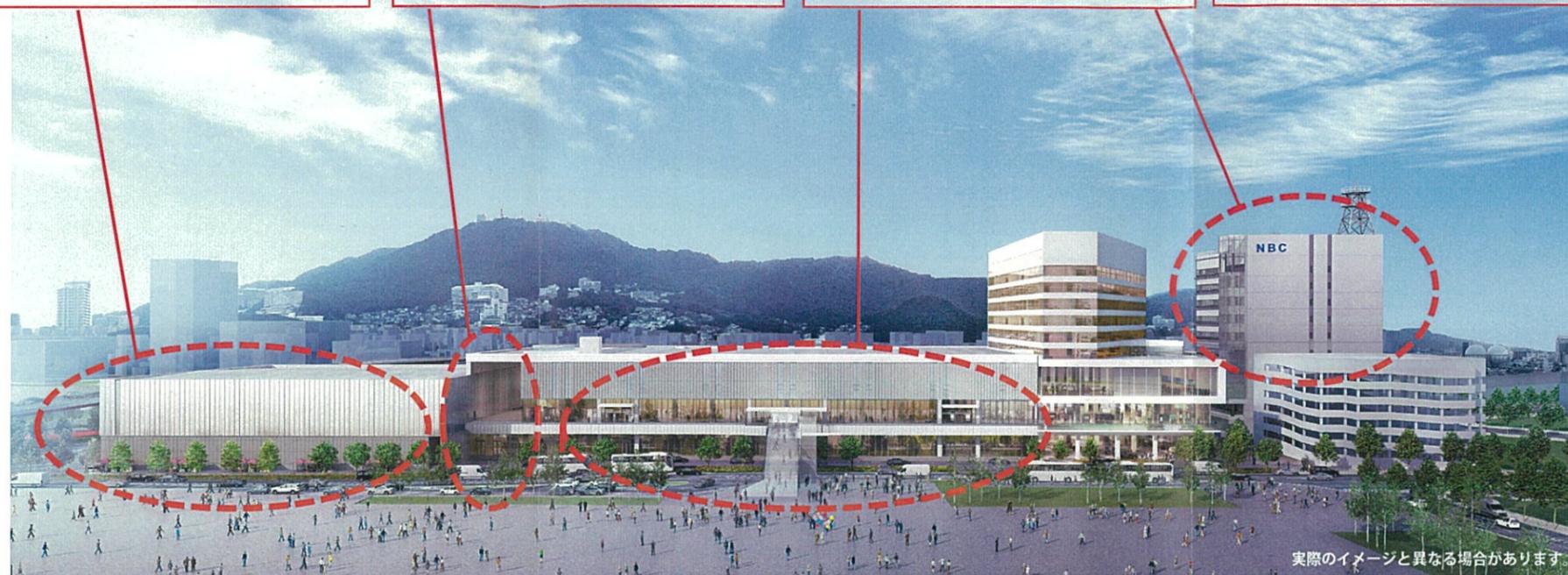
実施設計

① 外壁デザインの修正

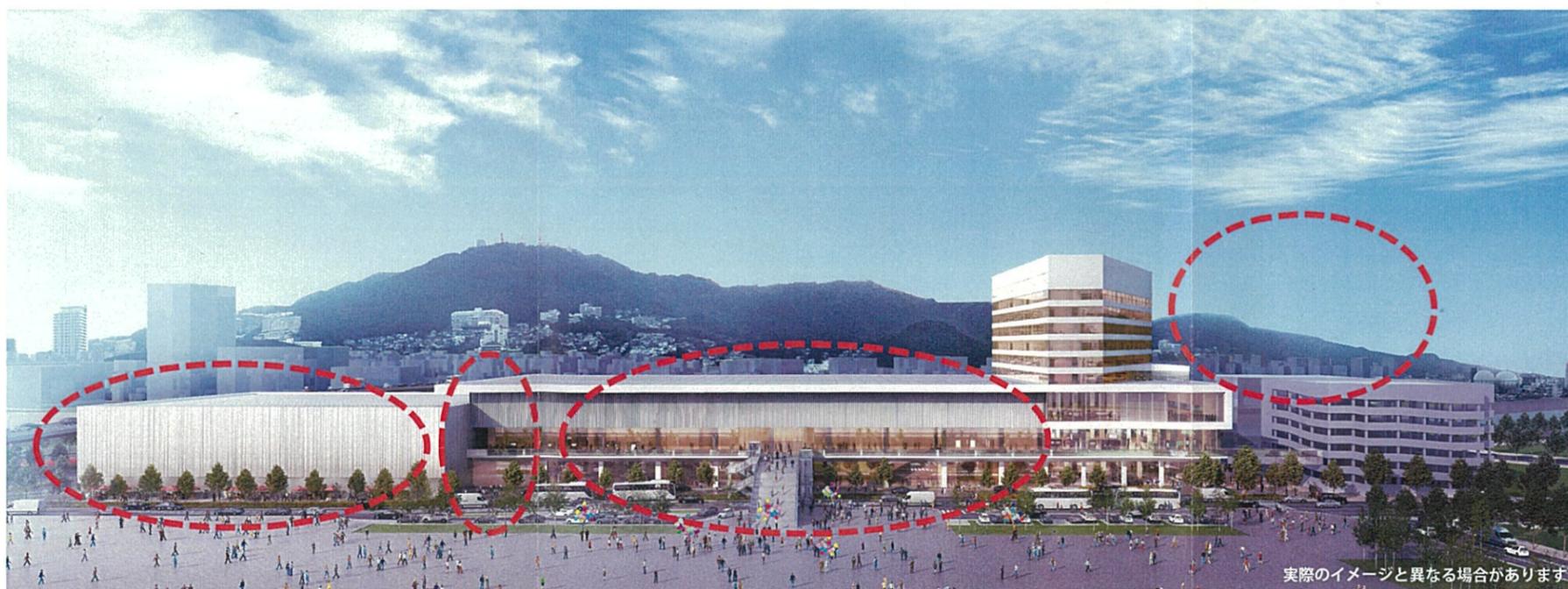
② 稲佐山プロムナードの追加

③ 入口の庇の設置等

④ NBC 長崎放送社屋の追加



提案時

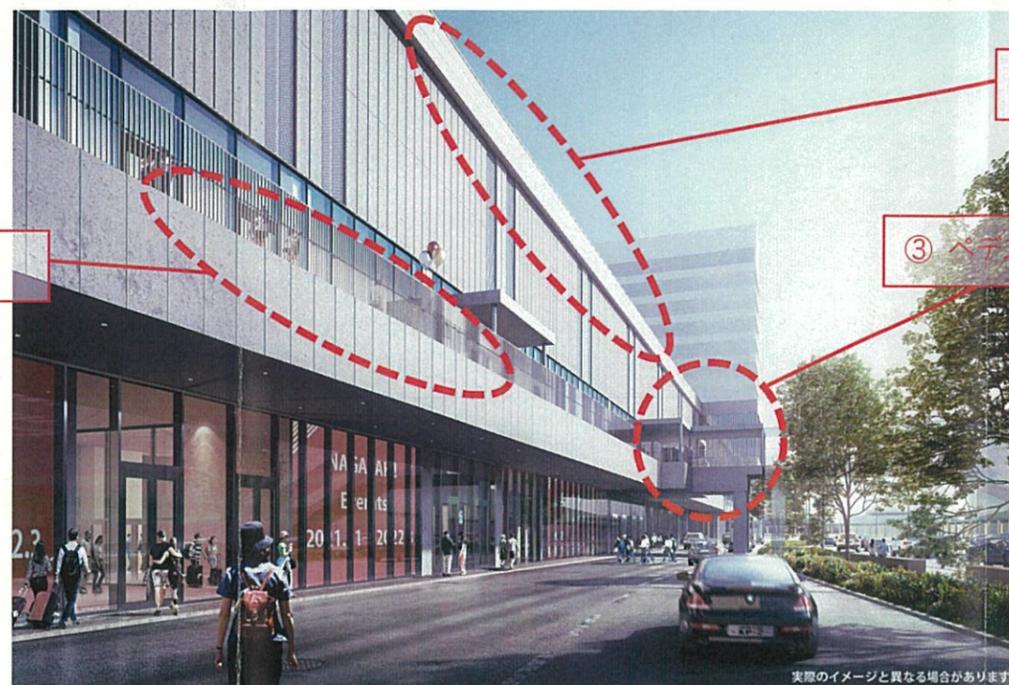


パース（変更点）

(3) 正面玄関(車寄せ側)

- ① 屋上の庇を取り、2階入り口に庇を設置することで、すっきりとしたデザインの外観へ変更した。
- ② デッキのフェンスをルーバーとし、デザイン性を向上させた。
- ③ 新長崎駅からの動線となるペDESTリアンデッキに屋根を設置し、雨に濡れない動線とした。

実施設計



① 屋上庇の修正

② フェンスデザイン性の向上

③ ペDESTリアンデッキの屋根を設置

提案時



パース（変更点）

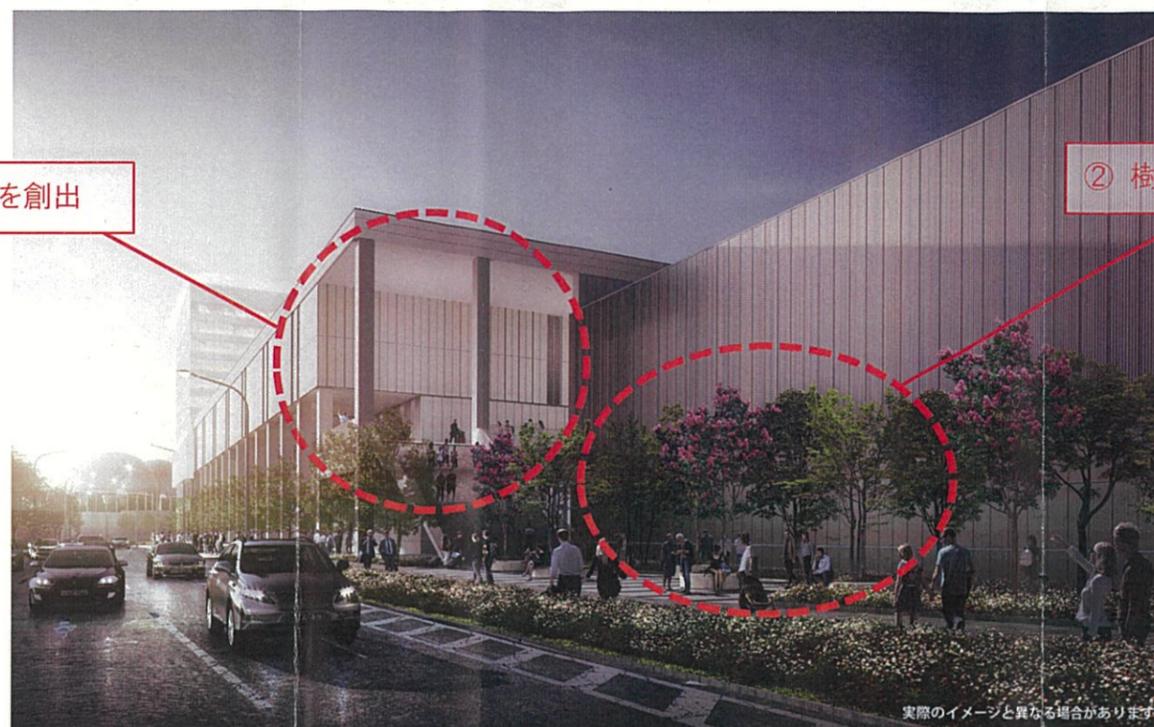
(4) 浦上川側

- ① 稲佐山方向へ向けて開口を大きくすることによって、より開放的な公共空間を創出した。
- ② 長崎に馴染みのある様々な樹種の樹木とともに、ベンチや花壇を配置し、上質なたまり空間を創出した。

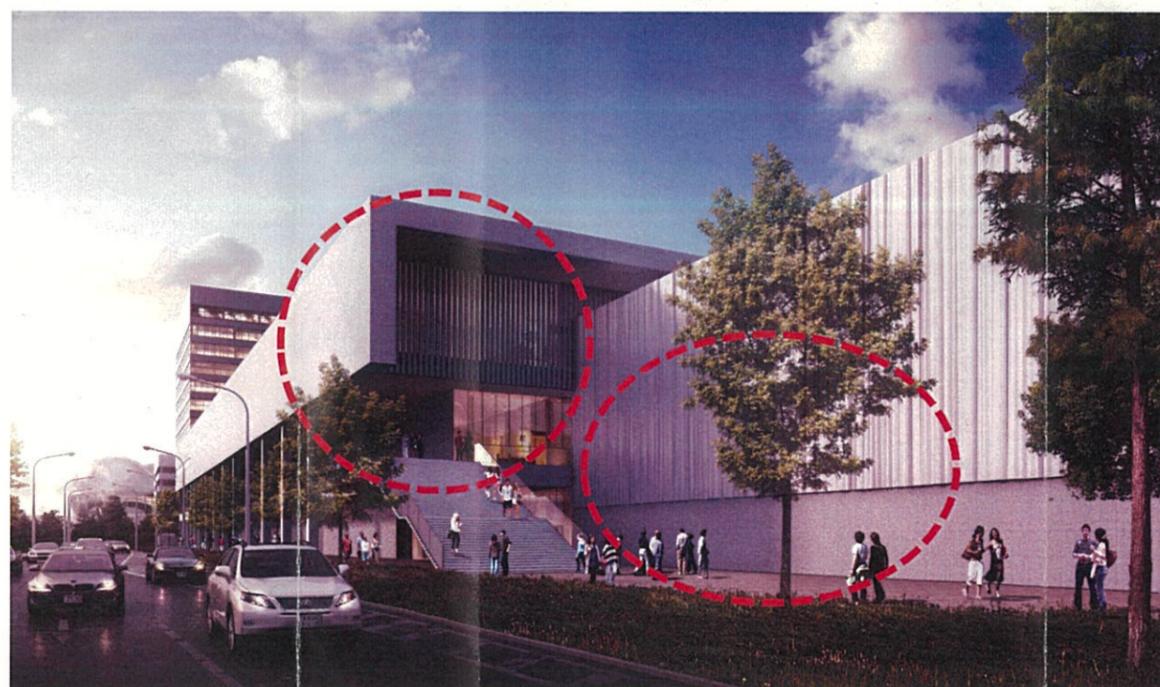
実施設計

① より開放的な公共空間を創出

② 樹木、ベンチ、花壇の配置



提案時

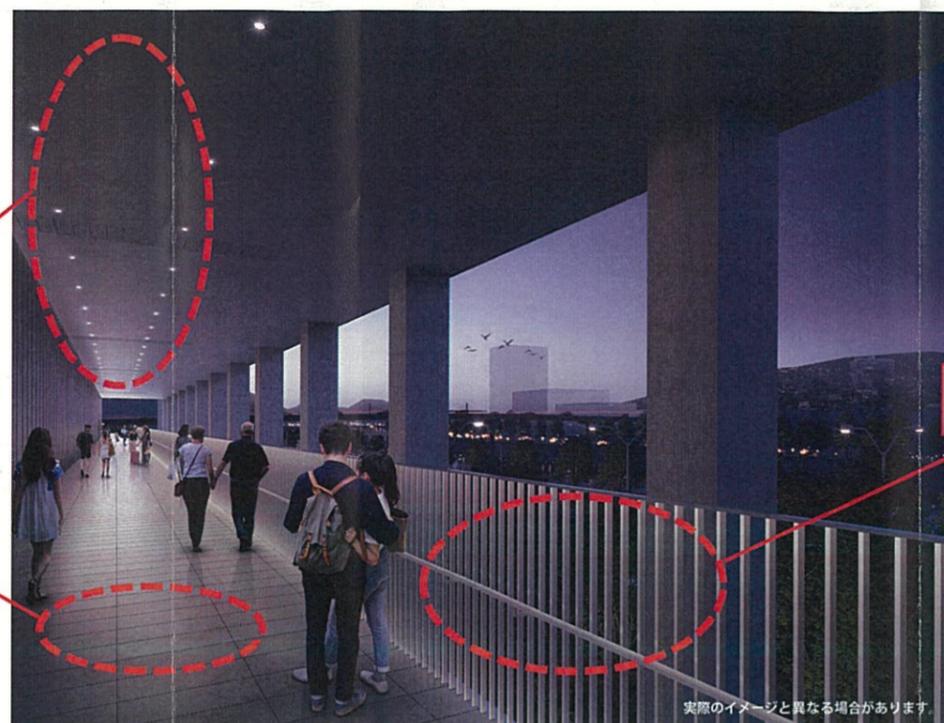


パース（変更点）

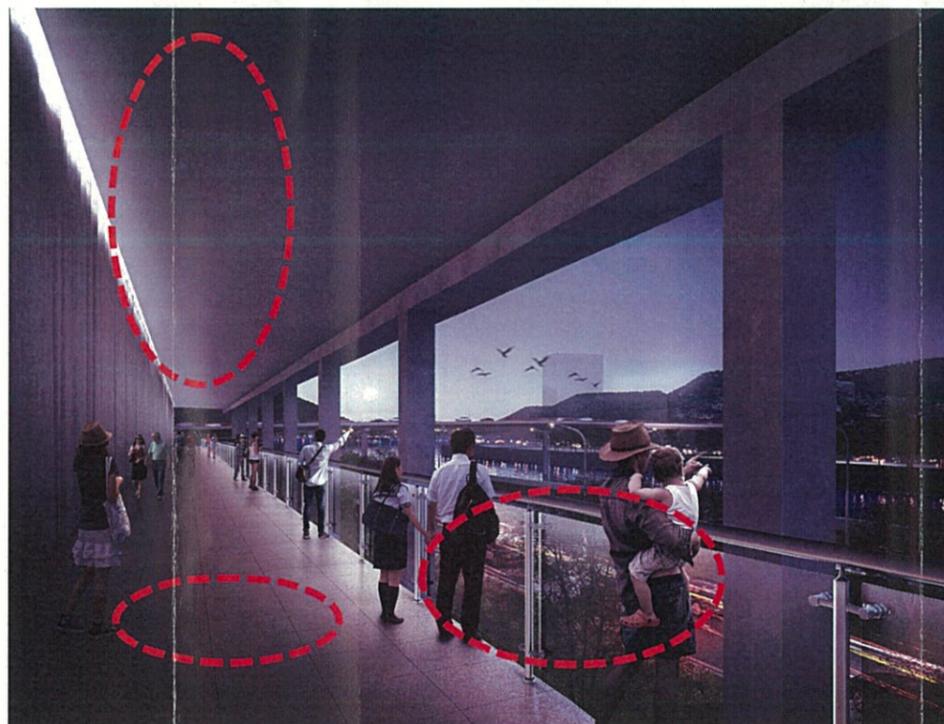
(5) リバーサイドデッキ

- ① フェンスをルーバーとすることで上品な空間を創出するとともに、ガラス張りよりも光と影の効果が高まることで、稲佐山等からの夜景やデッキ空間の雰囲気貢献するデザインとした。
- ② 床タイルの幅を狭めることで、一体感のあるデッキ空間とした。
- ③ 照明を天井に配置することで、夜間でも市民等が憩いの場所とできる空間とした。

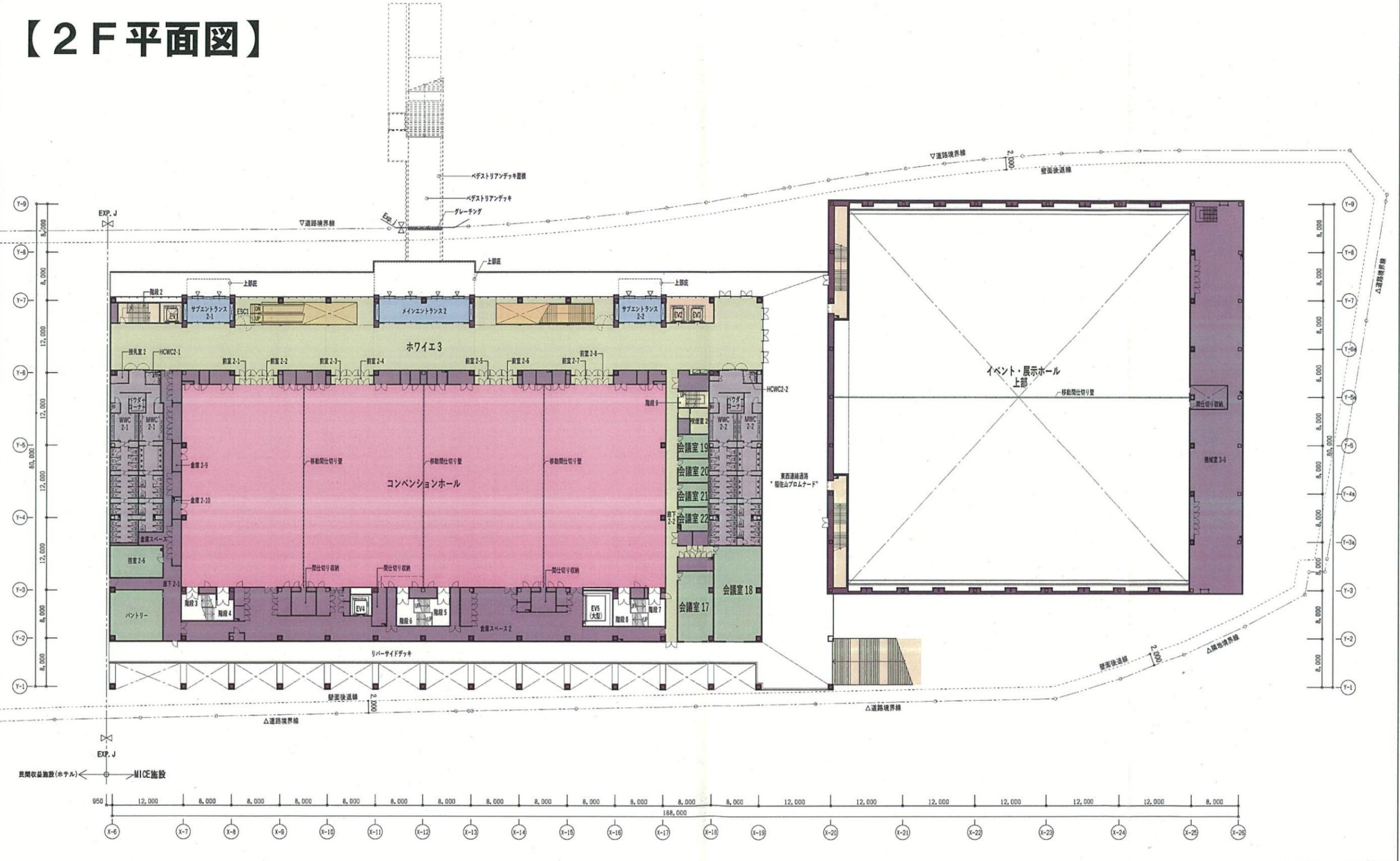
実施設計



提案時



【2F平面図】



* 付上レベル、特記なきは、[]とする。
 * スラッシュレベル、特記なきは、[]とする。
 * 階層-特記なきは、W1 (両面)、W2 (片面)とする。
 * 出隅部分はすべてコーナガード設置



色凡例	
■	廊下
■	エントランス
■	WC
■	会議室他
■	バックヤード
■	EV・階段
■	コンベンションホール

日建設計
 (仮称)長崎市交流拠点施設整備・運営事業
 MICE施設新築工事(15街区)
 3階平面図
 2019-05-17
 (通し番号 31)
 3-5
 No. J-140838-B
 A1: 1/300
 A3: 1/600

【断面図】

※浦上川側から見た断面図



施設仕様

	面積 (㎡)	席数(人)		配置階
		シアター形式	スクール形式	
コンベンションホール	2,700			
(1/4)		700	-	2階
(1/4)		700	-	2階
(1/4)		700	-	2階
(1/4)		700	-	2階
イベント・展示ホール	3,800			
(1/2)		1,500	-	1階
(1/2)		1,500	-	1階
会議室	2,340	2,270	1,178	
会議室1	575	620	330	1階
(1/3)	190	200	110	1階
(1/3)	190	200	110	1階
(1/3)	190	200	110	1階
会議室2	215	220	120	1階
会議室3	215	220	120	1階
会議室4	60	50	20	1階
会議室5	95	90	40	1階
会議室6	60	50	20	1階
会議室7	215	220	120	1階
会議室8	215	220	120	1階
会議室9	95	100	40	1階
会議室10	95	100	40	1階
会議室11	75	75	30	1階
会議室12	20	-	8	1階
会議室13	20	-	8	1階
会議室14	20	-	8	1階
会議室15	30	35	12	1階
会議室16	65	70	25	1階
会議室17	70	70	30	2階
会議室18	120	130	55	2階
会議室19	20	-	8	2階
会議室20	20	-	8	2階
会議室21	20	-	8	2階
会議室22	20	-	8	2階

提案時からの主な見直し	対応策	2F 平面図
<p>1 施設内滞留スペースの確保及び移動の円滑化</p> <p>2階フロアの溜り場が不足していることから、歩行者の利便性や安全性の確保のために滞留スペースが必要。</p>	<p>●稲佐山プロムナードの幅を拡張</p> <p>施設の諸室配置の構成上、南北面の拡張は困難なため、東西面の貫通通路である稲佐山プロムナードの幅を拡張。</p> <p>【変更前】 約2.5m幅(約160㎡) → 【変更後】 約11m幅(約700㎡)</p> <p>《効果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●施設内(2階)の滞留緩衝機能の向上 ●2階動線のスムーズな移動の確保による利便性・安全性の向上 ●有効活用 <ul style="list-style-type: none"> ・屋外展示スペースとしての機能追加 ・休息時などの機能追加 ・稲佐山の眺望改善 	<p>【提案時】</p>
<p>2 会議室のレイアウト見直し</p> <p>・稲佐山プロムナード拡張に伴い、2階小会議室の一部を残し、会議室を1階に集約し、レイアウトの見直しを実施。</p> <p>・全ての会議室から浦上川や稲佐山が望めないため、一部会議室から稲佐山側を望めるよう、配置を変更。</p>	<p>2-(1) ●会議室のレイアウトの変更</p> <p>【変更前】 全25室(約2,260㎡) → 【変更後】 全22室(約2,340㎡)</p> <p>《2階16室、1階9室》 → 《2階6室、1階16室》 (要求水準 2,500㎡ ±10%)</p> <p>2-(2) ●稲佐山側が望める会議室の配置</p> <p>2階会議室2室の向きを西側へ変更</p>	<p>【変更案】</p>
<p>3 雨に濡れない動線(新JR長崎駅西口からコンベンションホールまで)の確保</p> <p>長崎駅周辺エリアデザイン指針や利用者の利便性の観点から、駅からコンベンションホールまで雨に濡れない対策を講じる必要がある。</p>	<p>●屋根付きのペデストリアンデッキへ変更</p> <p>《効果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●雨天時における利用者の利便性向上 	<p>Callout 3: 屋根付きのペデストリアンデッキへ変更</p>
<p>4 ペデストリアンデッキの利用における円滑な入退場の実現</p> <p>施設側とペデストリアンデッキが直角に接続しているため、入退場の円滑な移動ができるよう、接続部の拡張が必要。</p>	<p>●ペデストリアンデッキの有効幅員を一部拡張</p> <p>施設側出入口に接続しているペデストリアンデッキの一部有効幅員を拡張。</p> <p>《効果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●入退場時の円滑な入退場の実現による利便性・安全性の向上 	<p>Callout 4: 有効幅員を一部拡張</p>
<p>5 コンベンションホールの分割の拡充</p> <p>コンベンションホールは2,720㎡と広いホールであるため、利用者及び主催者がより利用しやすいホールになるよう、ホール内の分割の拡充を実施。</p>	<p>●可動間仕切りによる分割を3分割から4分割へ変更</p> <p>《効果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コンベンションホールの稼働率向上 	<p>Callout 5: 3分割から4分割へ変更</p>

提案時からの主な見直し

6 1階と2階をつなぐ動線の追加

利用者及び主催者側がより利用しやすいホールになるよう、1階と2階をつなぐ動線を追加。

対応策

●2階稲佐山プロムナードへつなぐ階段を設置

屋内階段設置のため、イベント・展示ホールの面積を変更

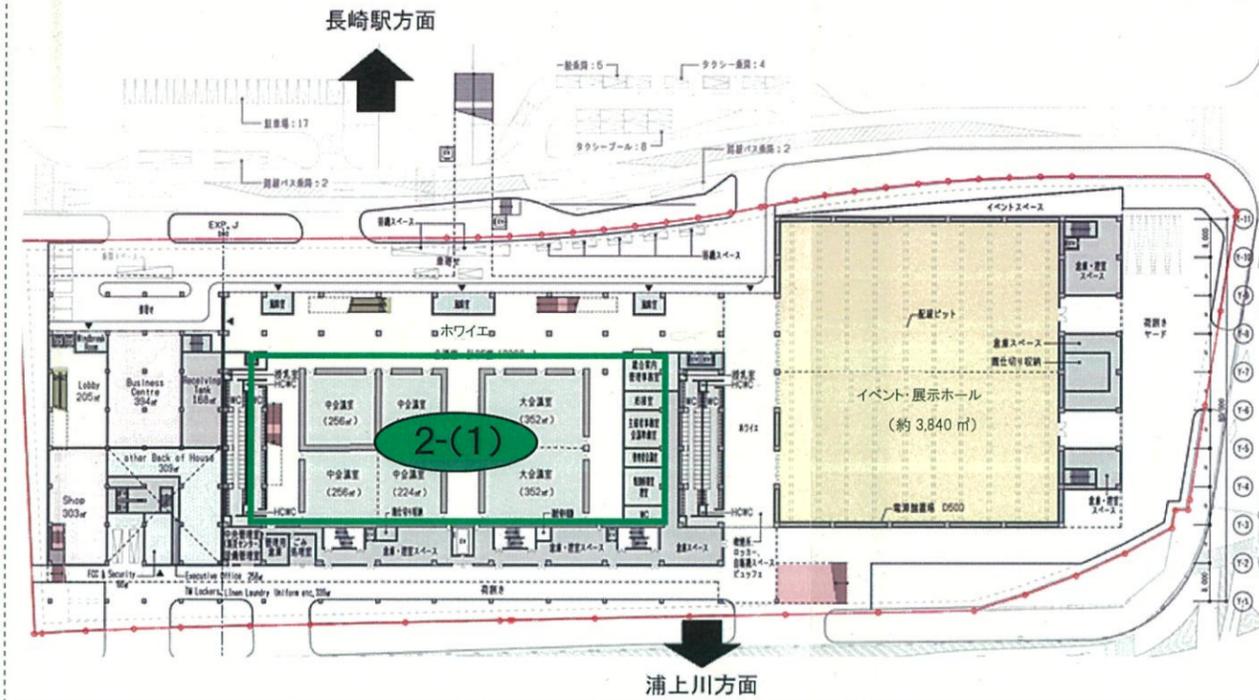
【変更前】 【変更後】

約 3,840 m² → 約 3,800 m²

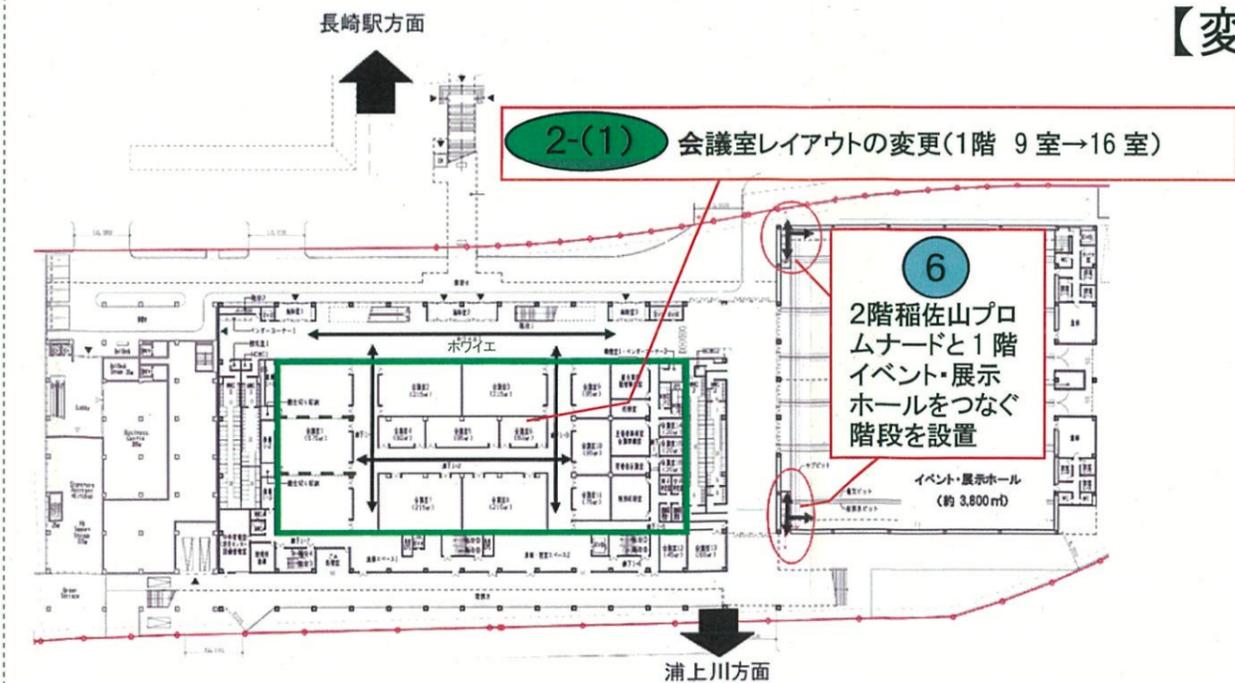
(要求水準 4,000 m² ±10%)

1F 平面図

【提案時】



【変更案】



提案時からの主な見直し

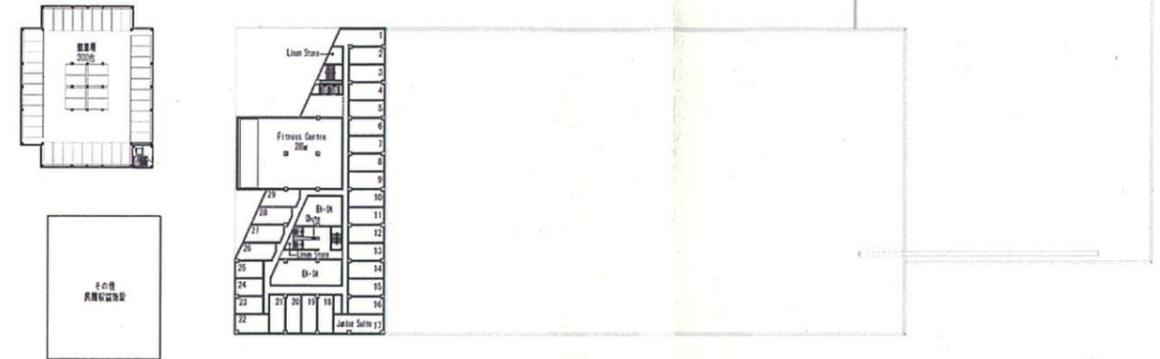
検討内容

屋上平面図・立面デザイン

7 MICE施設の屋根の有効活用 (検討中)
 広大な平面の屋根は目立つので、工夫をして有効な活用策の検討が必要。

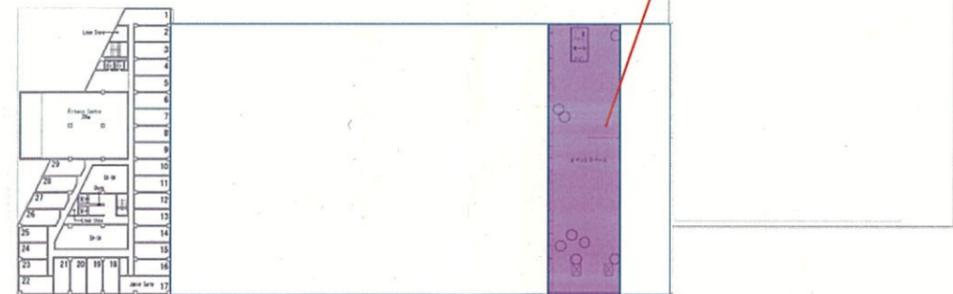
●現在検討中
 人が居心地のいい空間として感じられる(例 高級感がある庭園)眺望デッキやベンチ・プランターなどの配置などを検討中。

【提案時】



7 MICEの屋根の有効活用 → 検討中

【変更案】



8 稲佐山からみたMICE施設の夜景への貢献 (検討中)
 稲佐山から見る夜景の眺望について配慮が必要

●現在検討中
 駅の膜屋根など周辺との調和を考え、稲佐山から見える西側壁面部の照明の工夫が必要。
 (例)側面に建物の存在が感じられるよう、連続性を大切に照明の設置やリバーサイドデッキの照明や保安灯の活用などの検討。

【立面デザイン】

8 稲佐山からみたMICE施設の夜景への貢献 → 検討中

